

歩こうかい 5 月例会(通算 373 回)



三英傑ゆかりの地を訪ねる④



美濃路の脇往還 竹鼻をあるく

2022 年 5 月 11 日(水)

天気:曇りのち晴れ ・参加者 10 名 <14,000 歩>

名鉄南宿駅・・・間の宿・・・八劔神社・・・本覚寺・・・市民の森羽島公園(昼食)
ぐるっと羽島観光交流センター・・・羽島市歴史民俗資料館・映画資料館・・・
竹鼻別院・・・(竹鼻まつり山車会館)・・・佐吉大仏・・・名鉄羽島市役所前駅

時折涼しい風が吹く絶好のウォーキング日和。三英傑が往来した東海道と中山道を結ぶ美濃路の脇往還・竹鼻街道の北側に広がる一帯が今回のコース。

南宿駅を 10 時にスタートし、20 分程で美濃路の間(あい)の宿跡に着く。案内板には名前の由来は起(おこし)宿と墨俣(すのまた)宿の間にあつたからと書かれている。ここから 2018 年の美濃路シリーズで歩いた街道を逆に辿り 20 分程で休憩場所のスーパーに到着。ここで美濃路と分かれ、沿道に咲く草花や田園風景を眺めながら南西方向に向かい、途中コンビニで休憩を取りながら竹鼻地区の氏神・八劔神社に 11 時 30 分頃到着。竹鼻には 13 輻の山車があり、春に行われる竹鼻まつりでは山車がここから町に繰り出す。

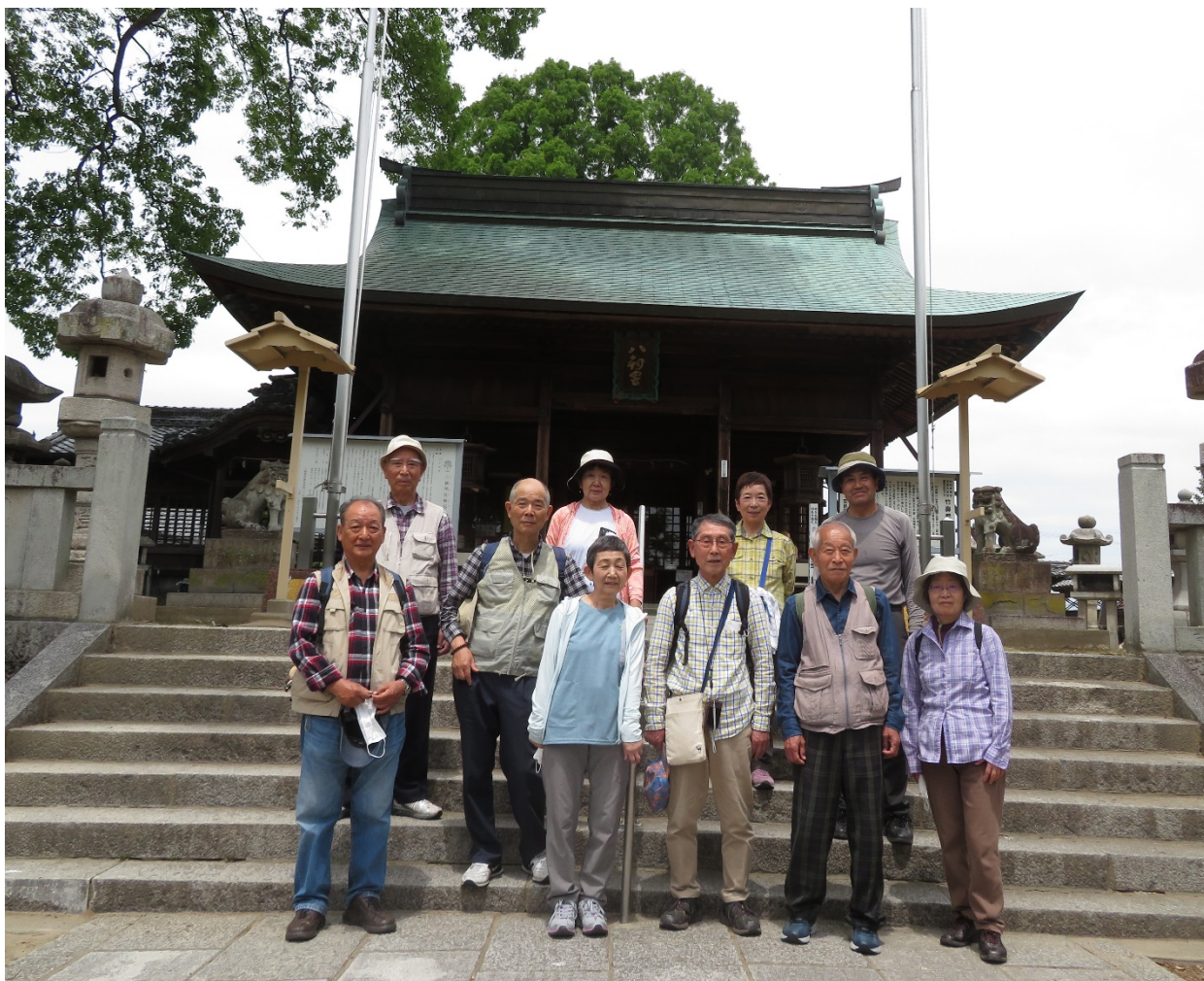


間の宿跡の石碑と案内板



八劔神社





八劔神社・社殿前



新町山車蔵



山車を蔵に納める様子(下見の時に撮影)



昔の面影を残す旧家を眺めながら少し歩くと本覚寺に着く。小牧長久手の戦い、関ヶ原の戦いに関係深い竹ヶ鼻城の城主の菩提寺として歴史ある古刹で、本堂の「雲龍の絵天井」は岐阜県重要文化財。



竹鼻の町に残る旧家



本覚寺

ここまで約 12,000 歩。昼時となり、お腹をすかせて 15 分程歩き市民の森羽島公園へ。陽射しが強くなり、涼しい噴水横のベンチで昼食を楽しんだ後、隣接する文化センターの喫茶コーナーで歓談する。



午後は、羽島の観光や名産品を紹介する「ぐるっと羽島観光交流センター」に立ち寄った後、竹ヶ鼻城があった場所に建てられている「羽島市歴史民俗資料館・映画資料館」の館内を見学。公立の映画資料館は全国でも珍しく、懐かしい映画のポスターを見て話が弾む。





歴史民俗資料館前の案内板



映画資料館の大きなポスター

資料館向かい側の竹鼻別院に立ち寄り、山車会館を経て、郷土の優秀人物として尾張徳川藩から表彰された永田佐吉が寄進した佐吉大仏を見学後、15時頃に羽島市役所前駅から帰路に就く。



竹鼻まつり山車会館



佐吉大仏

記：奥村正忠